



ごみ NOW

編集と発行 守山市ごみ・水環境問題市民会議(事務局:市役所環境生活部ごみ減量推進課 584-4692)

あなたの分別方法は正しいですか？ ごみの分別方法を確認しよう

令和3年10月から新たなごみの分別方法が開始しています。ごみ集積所に出されているごみの中には、旧分別方法で出されていたり、そもそも分別されていなかったりするケースが多く見受けられます。間違った分別方法でごみが出されると、環境センターでの適切な運営に支障がでます。今一度、分別方法を確認していただき、分別の徹底にご協力をお願いします。

① プラスチック類、ゴム・皮革製品、繊維類は焼却ごみ

破碎ごみの排出状況

焼却ごみに区分されるスニーカーやプラスチック製容器、かばんなどが破碎ごみとして出されています。

間違ったごみの排出例



正しい分別方法

- ①スニーカー、サンダルなどの靴は原則**焼却ごみ**(スパイク、山岳用靴など金属を含むものは破碎ごみ)
- ②プラスチック製の容器は**焼却ごみ**
- ③電池を使用しないプラスチック製のおもちゃは**焼却ごみ**
- ④金属が付いていないかばんは**焼却ごみ**

排出時のポイント

- ・繊維類でも、衣服やタオルなどは古布として**リサイクル**しましょう。
- ・**50cmを超えるものは切断**して焼却ごみとして出しましょう。

② 容器包装プラスチック(旧トレイ類)は焼却ごみ

破碎ごみの排出状況

プラマークの付いた食品トレーや包装容器が破碎ごみとして出されています。

間違ったごみの排出例



排出時のポイント

きれいな食品トレーは、スーパーなどの店頭回収を積極的に活用してください。各店舗が各自の方法で食品トレーをリサイクルしています。詳しくはごみ・資源物収集カレンダーをご覧ください。

破碎ごみは**手選別**しています

破碎ごみは環境センターの職員が手選別で仕分けをしています。焼却ごみの区分のものが破碎ごみで出されると、その分、仕分けに時間と労力がかかってしまいます。

ごみの排出で特に注意してほしいこと

① 金属類を含むものを焼却ごみとして出してはいけません

焼却ごみの排出状況 キッチン用品や水筒などの金属類が焼却ごみとして出されていました。



燃え残ったキッチン用品



燃え残った水筒

焼却ごみに金属類が入っていると燃え残り、環境センターの焼却炉を傷める原因になります。

⇒**金属類は燃えません！**金属は「**破碎ごみ**」に出してください

② 製品に電池類（乾電池、リチウムイオン電池）を入れたまま、焼却ごみや破碎ごみとして出してはいけません

焼却・破碎ごみの排出状況 小型ゲーム機や小型掃除機に電池が入ったまま、ごみとして出されていました。



電池が入ったまま出されたもの

破碎処理中に発火したリチウムイオン電池



令和2年度に電池類を起因とした事故が6件も発生しました。

←令和2年7月5日、環境センターの破碎機での発火物。

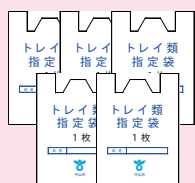
⇒**電池類は必ず製品から取り出し、製品のみ「破碎ごみ」に**

電池類はごみ集積所の乾電池回収ボックスに出してください。製品から電池類を取り外すことができなければ、使用済み小型家電回収ボックス（投入口：25cm×15cm）をご利用ください。

トレイ類指定袋の差額交換は**3/31**まで 交換はお早めに

守山市では、令和3年10月1日より、分別変更に伴い各家庭に残ったトレイ類指定袋の差額交換を行っています。

【交換例】



トレイ類(1枚10円)5枚



現金 100円



焼却ごみ指定袋
150円相当



【受付時間】 午前8時30分から午後5時15分まで

【交換窓口】 平日：もりやまエコパーク内ごみ減量推進課、市役所市民協働課、学区の地区会館
土・日曜日、祝日：各学区の地区会館のみ